

【写】

5台監第120号
令和6年3月28日

殿

台東区監査委員	畑	克	海
同	太	田	龍彦
同	拝	野	健

令和5年度 定期監査（事業所、学校等）の結果について（報告）

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づき、標記監査を実施しましたので、この結果を同法第199条第9項の規定により、別紙のとおり報告します。

なお、本件監査については、元田秀治前監査委員が令和5年10月31日まで関与しました。

1 監査期間

(1) 事業所

令和5年8月28日(月)～令和6年3月28日(木)

(2) 小学校、中学校、幼稚園

令和5年11月28日(火)～令和6年3月28日(木)

2 監査対象

(1) 事業所

南部区民事務所、台東地区センター、東上野地区センター、上野地区センター、浅草橋地区センター、台東区民会館、台東子ども家庭支援センター、浅草保健相談センター、玉姫保育園、谷中保育園、千束保育園、待乳保育園、根岸図書館、石浜図書館

(2) 小学校、中学校、幼稚園

上野小学校、根岸小学校、忍岡小学校、金曾木小学校、大正小学校、台東育英小学校、柏葉中学校、上野中学校、根岸幼稚園、大正幼稚園、清島幼稚園、育英幼稚園、石浜橋場こども園

3 監査の範囲

主として令和4年度から令和5年度にかかる財務等における事務の執行状況及び施設の管理運営が、法令等に基づいて適正かつ効率的に行われているかどうかを主眼として実施した。

4 監査の方法

監査委員は、関係部課長、事業所長、学校長、園長から、事務事業の運営状況及び予算の執行状況等の説明を聴取し質疑応答を行い、監査を実施した。

また、事務局職員は監査委員の命を受け、監査対象事業所・学校等から関係書類及び帳簿等の提出を求め、調査及び事情聴取等の予備監査を行い、その結果を監査委員に報告した。

予備監査における主な確認書類

- (1) 職員サービス関係書類(出勤簿、休暇簿、超過勤務等命令簿、各種届出書等)
- (2) 旅費執行関係書類(旅行命令簿兼旅費請求内訳書、出張復命書等)
- (3) 経理関係書類(請書、各種整理簿、金券受払簿等)
- (4) 収入関係書類(施設使用許可・使用料減額免除申請書、収納金関係書類等)
- (5) 施設・備品管理関係書類(施設保守点検報告書、供用備品現在高一覧表等)
- (6) 給食関係書類〔※保育園〕 内品書、仕入帳等)

5 監査の結果

提出された関係書類等を基に、事務事業の執行状況や施設の管理運営等について監査したところ、おおむね良好に行われており、特に、指摘・指示を要する事項はない。但し、軽微ではあるが次のような口頭注意事項があったため、今後の適正な事務処理等に留意されたい。

<事業所>

(1) 口頭にて注意した事項

①旅行命令の定期券情報の登録について

勤務地の変更を伴う異動後、人事管理システムで旅行命令の申請する際、定期券情報を修正しないまま申請したため、旅費が過支給になっていた。人事異動後は注意されたい。

②排水口等の維持管理について

屋上や、屋外に設置されている排水口等に枯葉や泥等が堆積し、詰まっている施設や、屋上の目地等から苔や草が生えている箇所もあった。普段人目につかないような箇所の、定期的な点検、清掃等の適正な施設管理に努められたい。

(2) その他、口頭にて注意した主なもの

- ・人事管理システムに打刻エラー等が残っているもの。
- ・1万円を超える消耗品の購入等で、見積比較が不十分なもの。
- ・各種保守・点検等の報告書について、履行確認が不明なもの。
- ・屋内階段に荷物が置いてあるため、避難上支障があるもの。

<学校等>

(1) 口頭にて注意した事項

①サービス関係書類の事務処理について

出張時の時間の誤記載、休暇・職免等の申請についての記載不備、介護休暇について摘要欄への記載漏れ、出退勤の打刻エラー修正がされていない事例が一部の学校・園において見受けられた。

なお、これらの申請等は人事管理システムにより行われているが、職種により一部の教職員は従来の紙書類を用いていることを付記しておく。

②経理関係書類の事務処理について

- ・見積書の日付不記載
- ・見積結果表の記載不備
- ・請求書の要件不備

③施設関係について

- ・屋上目地に雑草が生えている事例
- ・防火扉付近への荷物の放置

6 監査委員との主な質疑応答

(1) 事業所

監査対象事業所	南部区民事務所、台東地区センター、東上野地区センター、上野地区センター、浅草橋地区センター、台東区民会館
監査実施日	令和5年10月25日(水)
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 事業所)	
Q	マンション建設等で新しい住民が増えた時、既存の住民とのコミュニケーションや町会参加は如何か。また、外国人の方の動きやトラブル、地区の特色等はどうなっているのか。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・南部区民事務所では、一軒家が無くなりそこにマンションがどんどん建設されている。新しくマンションが建設された際は区の制度で町会に加入するが、賃貸マンションでは、住人の出入りが激しく中々難しい。また、コロナ禍では外国人が少なくなったと感じられた。こちらの地域では、外国人が多く公園利用やごみ捨てのマナーを教えることに、町会では苦勞されている。 ・台東地区センターでは、マンション建設の際に区民課から申請内容の情報提供があるため、町会にお知らせしている。町会は不動産会社等と町会費の取り決めをしている。外国人は多く見かけるようになり、トレーニング室の利用もある。 ・東上野地区センターでは外国人の存在はあまり前面に出ていない。この地区は規模の大きな事業所が多くあり、町会にも加入している。マンション建設もあり、建築会社や不動産会社と協定を結び始めは加入をしても、住民の入れ代り時に入ってもらえないケースもある。 ・上野地区センターでは、マンションについては他の地区センターと同様である。外国人については、それほど増加していないが、アメ横の中で新たに外国人が飲食店を開いているケースが多い。 ・浅草橋地区センターでは、他の地区と同じようにマンション建設の際、町会加入について協定を結んでいるが、町会加入が進まない。浅草橋紅白マロニエ祭りなどを通して地域のイベントに関わってもらい、それを契機に町会加入に結び付けたい。また、この地域は専門学校や宝飾店関係の外国人の方が多く住んでいる。外国人の方に阿波踊りを通して交流を行っている団体もある。 ・台東区民会館では、浅草寺等は外国人を含めた有名な観光地ですが、コロナ禍では閑散としていた。今は、元の賑わいが戻ってきた。
Q	各地区での課題や改善点は如何か。
A	どの地区でも同様の課題として、住民数の減少や町会の役員や会員の高齢化によって、後継者がいないことが切実な問題となっている。町会活動の中にはお祭りやお神輿などの祭礼的なものもあり、新しい住民が無関心でいる。区民課では町会をサポートするためアドバイザー派遣事業を実施し、どこまでサポートできるか大きな課題となっている。
Q	今年の夏、「涼み処」が設けられたが、利用状況は如何だったか。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・南部区民事務所では、設置する場所が無かったので、近くの環境ふれあい館を案内した。 ・台東地区センターでは、1階のエレベーター前に椅子を置いていた。利用

	<p>者はあまり多くなかったが、区民館利用者等が休んでいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東上野地区センターでは、場所が狭いため設置していなかった。 <p>上野地区センターでは、椅子を二つ置いていた。9月末の事業終了後も継続して置いている。人数のカウントはしていないが、利用されていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅草橋地区センターでは、めぐりんの停留所があるため、利用者が多かった。引き続き椅子は置いている。 ・台東区民会館では、1階に椅子を2席設け、無料のペットボトルの水を配布し、利用者が多かった。東京都との複合施設ですが、東京都は来年度から実施すると聞いている。
Q	それぞれの施設面での要望等は如何か。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・南部区民事務所では、区民館は基本的に地域の方の施設であるため、いざ使いたいときに予約で使えない事が無いように稼働率を抑えて、急な利用に答えられるようにすることが理想であると思う。 ・台東地区センターでは、午後の利用率は高いが、夜は低くなる。また、ふれあい広場は、展示以外で使えないため利用が少ない。昨年度からモバイルWifiが2台配備されたが、会社利用などが多いと2台では不足しているため、増設を希望している。 ・東上野地区センターでは、上野駅から近く場所の便が良いため、会社利用が多く区内団体は3ヶ月、区外は1ヶ月前からの予約で直ぐに埋まってしまう、区民の方が直前に利用しようとしても空いていない場合がある。インターネット予約が導入されてからより加速されていると感じる。 ・上野地区センターでは、場所も良いため稼働率が良く、トレーニング室も新規や更新の人も増えてきている。 ・浅草橋地区センターでは、防音設備のある部屋が無く、音楽活動をする団体が多いため、防音設備を要望している。 ・台東区民会館では、予約が区の公的な催し物が先に入り、その後区民優先で1年前、区外10ヶ月前になっている。公的な催し物が多く一般の方から空いていないという声が上がっている。また、会議室の造りのため、合唱や楽器演奏等の音が出るもの、床振動を伴うダンス、武道、運動はお断りさせていただいているが、若い方からダンス等の要望が増えているため、改修工事ができるのであれば検討してもらいたい。
Q	各地区の女性部と女性町会長の就任について如何か。
A	<ul style="list-style-type: none"> ・南部区民事務所では、精華町会に最近女性部長から町会長に就任した方がいる。事務局としては、女性の町会長がどんどん選ばれていくことが望ましい。 ・台東地区センターでは、町会の副会長を務めている女性は何名かおり、町会長になった方もいる。
Q	台東区公共施設予約システムが導入されて、利用勝手は如何か。
A	登録していただいたカードで、インターネット経由で空いている区民館を選んで申請する。一つの団体で色々な区民館を利用する方が最近増えて、便利になっている。

監査対象事業所	台東子ども家庭支援センター
監査実施日	令和5年10月16日(月)
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 事業所)	
Q	「あそびひろば」の稼働状況や混雑具合は如何か。
A	コロナ過前は1日80組程度の利用が平均的であったが、最近ではコロナ禍で外出しない親子が多い。徐々にイベントを再開しているが、台東区民館地下の多目的ホールがコロナワクチンの接種会場や工事の影響で使用できないが、第4集会室の和室を借りてイベントを行っている。現在は1日20組程度の利用に留まっている。
Q	不用額の説明で、契約差金による複合施設管理委託料の残は施設の中での他の部署との予算のやりとりになるのか。
A	施設の清掃や警備委託等の施設の委託を入札で行った契約額の契約差金となる。各施設の支払額は按分の割合で決められている。
Q	「あそびひろば」の利用者実績の人数で、同じ親子が何回も来ることが多いのか。
A	近隣の方で、毎日利用される方がいる。一方、区外の方も受け入れており、秋葉原に近く立地も良いので、待ち合わせに使って、子供のあそび場として利用している方もいる。 新規の方よりもリピーターの方が多いので、令和元年度の実績では1年間に700組が新規登録されて、延べ21,400人の利用があった。
Q	「ハーフバースデー」の開催状況は如何か。
A	今は台東区民館の第4集会室の和室を利用しているため、定員が20組程度に限定されてしまう。地下多目的ホールの利用が再開できれば、100組程度のイベントが開催できる。
Q	イベントの企画はどのようにしているのか。
A	日頃「あそびひろば」で困りごと等を耳にしているため、こういった支援が必要か職員で話し合いイベントを決めている。
Q	「クローバーズ」の事業は、どのようなものか。また、限界を感じることは有るか。
A	ひとり親世帯の方に同じ境遇の方と一緒に話す機会や、必要な情報提供、地域でのマッチングの仲立、フードパントリー、リユースクローゼット等が好評を得ている。 対応できることは限られるが対象を3歳までとしている。それ以降も就学前までメールでのやり取りを継続して行い支援している。

監査対象事業所	浅草保健相談センター
監査実施日	令和5年10月16日(月)
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 事業所)	
Q	台東保健所と浅草保健相談センターの役割分担はどうなっているのか。また、他区でも、保健所と保健相談センターが別々に有るのか。
A	保健サービス課の保健指導担当の業務は、下谷地区は台東保健所、浅草地区は浅草保健相談センターで地域別に分けている。一方、浅草保健相談センターの庶務担当や母子健康包括支援担当で行っている事務事業は、企画調整、予算化を含め一括して実施している。
Q	「出産・子育て応援ギフト」は保健師が訪問して案内した方が支給対象になるのか。
A	この事業は、原則保健師と面談した方に対してギフトを交付する仕組みになっている。台東区では従来、妊娠届出時に「ゆりかご・たいとう面接」の事業を行っており、出産後は乳幼児家庭全戸訪問のスキームがあったため、その事業を再構築している。
Q	「出産応援ギフト」と「子育て支援ギフト」で、ギフトの渡し方が違う理由は何か。
A	「出産応援ギフト」は妊娠届出時に渡すが、元々「ゆりかご・たいとう面接」事業でもこども商品券を面接終了後に直接手渡ししていたスキームが既にあったため、それを利用した。一方、「子育て応援ギフト」は区の保健師又は、委託の助産師が出産後に乳児家庭全戸訪問した際に渡すこととなり、委託の助産師が金券を取扱う場合に負担がかかるため、後日郵送の形として、一月分まとめて事務処理をしている。
Q	主な事業の中で、業務委託しているものは何か。
A	「ハローベビー学級」、「産後ケア」、「産前産後支援ヘルパー」を業務委託している。乳児家庭全戸訪問もハイリスク家庭以外を助産師に委託して、取り纏めは区で行なっている。また、「おやさポート・ネットワーク」は、NPO法人の方を雇い上げて実施している。
Q	「ゆりかご・たいとう面接」は出産時の相談を行うものか。
A	この事業は、平成28年度から事業実施しており、妊娠時に面接を行った方に1万円のこども商品券を渡している。令和4年度からは、この面接時に「出産・子育て応援ギフト」の事業も加えた。コロナ禍では来庁しての面接に対してご意見が多かったため、オンラインでの実施も導入した。この事業は、出産後の生活のイメージや、妊娠時の不安を解消することを目的にしている。
Q	浅草保健相談センターの施設のスペースは十分足りているか。
A	令和元年12月にオープンしたが、直後にコロナ禍となり当初想定していた人の流れとは異なっていたが、それでも上手く運営できている。

監査対象事業所	玉姫保育園、谷中保育園、千束保育園、待乳保育園
監査実施日	令和5年10月31日(火)
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 事業所)	
Q	職員の病気や人員確保で苦労されている点は如何か。
A	<p>・玉姫保育園は、保育の質の充実のため派遣や会計年度任用職員に協力してもらっている。しかし、派遣職員は高齢の方が多く体調を崩すことが多く、支援児担当の支援員も50代の方が多く、動きが激しいため体力的に追いついていない。</p> <p>・谷中保育園は、長時間保育のお子さんが多く、シフトの当番数も多くなり、手薄になる時間もあるが、協力して工夫している。</p> <p>・千束保育園は、他園と同じように派遣や支援員が不足している。病欠から復帰した職員もいるが、順調に職場復帰できている。また、子育て中の職員もいて子供の急な体調不良等で休むと、シフトが成り立たなくなるが、園長、副園長、係長も保育に入りチームワークで乗り切っている。</p> <p>・待乳保育園は、シフト数が多く、休暇を計画的に取得するように心がけている。発達障害的なお子さんが多くなってきているが、支援員が不足している。募集をしても応募が無い現状である。</p>
Q	ヒヤリハットの事例や、保護者とのトラブルは如何か。
A	<p>・玉姫保育園では、お迎え時に目を離した際に子供が他の保護者と一緒に門の外に出てしまい、迎えに来た父親と一緒に連れ戻したことがあったため、引き渡し時の確認を見直した。また、保護者とのトラブルとまでは行かないが、不満を直接話してくれずに区の児童保育課に電話された事例がある。</p> <p>・谷中保育園では、1歳児のクラスにヒヤリハットの事例が多くあり、噛みつき、引っ掻き、押してしまう等、自分のパーソナルスペースが侵された時に起きる行動が多いため、保護者会で説明している。次に多いものは、歯科受診に関する怪我で、転んだ時に手が出ないで口を打ってしまう事がある。トラブルというより、今年の夏は暑かったので「外へ出て遊ぶ機会が少ない」というご意見が多かった。</p> <p>・千束保育園では、ゴザの上で遊んでいた支援児の子が他のクラスの運動会の練習の音楽に合わせて踊りだして滑って転び、前歯から出血した事例があり、直ぐに歯科を受診した。対策として、安全を考えゴザの上でも靴を履いて遊ぶように変え、終了後にゴザを拭いて対処するようにした。保護者とのトラブルについては、個性の強い保育士と保護者の対応があり、副園長が直ぐに対応して大事には至らなかった。</p> <p>・待乳保育園では、小さい子は予測のできない怪我が多く、大きくなると活発に動くようになるが、空間認識が弱い子供が多くそれに起因した怪我が多くあるため、職員の予想を超えた動きを注意深く見ていく必要がある。保護者とのトラブルは、自分の子供がいじめられているのではないかと心配されているケースがあり、保護者と時間を取って話をすることで、担任もより意識的に対応することができた。</p>
Q	保護者とのやり取りは、どのようにしているのか。

A	「コドモン」というアプリで生活記録、食事、睡眠、排便等を文章化して、その日の様子を伝えている。発熱などの緊急時の連絡は電話を利用している。
Q	避難場所への移動はどうやって行うのか。
A	玉姫保育園では、年1回避難場所まで実際に移動する避難訓練を実施している。小さいクラスの子供はバギーに乗せたり、おんぶをし、大きな子供は歩いて行く。 基本的には、建物が無事であれば、東京都の帰宅困難者条例があるので、震災時保育園には3日間留まる。保育園にその分の備蓄品はある。
Q	各保育園の定員に対して10名程度少ないが、この程度の余裕がるという事なのか。
A	今年の4月に待機児童が0となり、定員割れをしている。昨年からやや兆候が見られ、特に谷中では大きく下がっている。0歳～5歳の年齢が令和2年をピークに減少傾向になっている。今では、ほぼ、希望通りに入園できている。
Q	保育方法での改善点等は如何か。
A	やはり、「人は人でないと育てられない」。適正な人材がもう少しいれば、丁寧な関りができ、園外保育や時間にゆとりが持てる。ゆとりがあると心のゆとりにも繋がることをいつも感じている。丁寧に関わる事で自尊心も育ち、社会的な関わりも適切に学ぶことができる。大きくなった時の手のかかり方が変わると思われるので、先行投資が重要と考える。家庭では一人のお子さんに両親が関わっているが、保育園では家庭より長い時間関わっている。

監査対象事業所	根岸図書館、石浜図書館
監査実施日	令和5年11月2日(木)
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 事業所)	
Q	両図書館の使い勝手、利用者の評判等は如何か。
A	<p>・根岸図書館は2階にありエレベーターが無く、車椅子やベビーカーの方が館内に直接入れない。1階にインターホンを設置し、職員が貸出や返却に対応している。老朽化のため、空調の利きも悪くなっているため、改善をお願いしている。</p> <p>・石浜図書館は平成12年に建築され設備機器が傷んできている。トイレも古く和式トイレや、洗浄便座の設備が無く、空調は夏前に故障して一部修理を行ったが、元の性能を発揮できず利用者から苦情が来ていた。書架と学習室が3階と4階に分かれているため、利用者に行き来で不便をかけている。</p>
Q	不明資料とはどのようなものか。また、不明資料が発生する原因は何か。
A	不明資料は毎年1回図書の整理期間に、今の所蔵している本と貸出中の本をチェックし、そこで見つからない本が不明資料であり、長期延滞で返却されていないものは不明資料ではない。原因はいつの間にか持ち出されてしまったこと等が考えられる。今は、ICタグが導入されて利用手続きなしに持ち出すとブザーが鳴るため、以前に比べて減少した。
Q	選書はどの様に行っているのか。
A	職員がそれぞれの部門の担当を持って、各部門の中で選書を行っている。新たに配属された職員にはレクチャーをしながら少しずつ範囲を広げて選んでもらっている。基本的に新刊案内という本から選び、最終的に中央図書館で全館希望の本を集めて振り分ける調整を週1回行っている。
Q	図書館に未だ来ていない方へのイベントの周知はどのように行っているのか。
A	<p>・根岸図書館では、広報たいとう、区のホームページで周知しているが、未利用者への周知は課題があると認識している。</p> <p>・石浜図書館も根岸図書館と同様だが、近隣の保育園、児童館に直接チラシを配りに行っている。</p>
Q	両図書館の最重点課題としての取組は如何か。
A	<p>・根岸図書館は子供の頃からの読書習慣が一番大事と考え子供向けイベントを数多く実施し、図書館に興味を持ってもらうようにしている。一般の方向けには、新刊図書の充実に努めている。</p> <p>・石浜図書館の利用者は高齢者とお子さんが多いため、その方が満足する資料の選定をして利用者を増やしていきたいと考えている。</p>
Q	勤務時間の関係で早番、遅番があるが、司書の方のシフトは如何か。
A	<p>・根岸図書館では一般の職員と同じように順番で行っている。</p> <p>・石浜図書館では金曜日に図書の選定を行うのでなるべく揃うようお願いしている。また、イベントや遅番の回数に配慮して勤務を割り振っている。</p>

(2) 小学校、中学校、幼稚園

監査対象校(園)	忍岡小学校
監査実施日	令和6年1月17日(水) 13時30分
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 校(園)長)	
Q	外国籍の児童は多いか。
A	数人いる。国際理解教育を行っている。
Q	異校種間交流とは何か。
A	近隣のこども園との交流を行っている。中学校との交流を行っていたこともある。
Q	感染症の状況はどうだったか。
A	昨年9月にインフルエンザが大流行し、学級閉鎖などがあったが、大きな行事には支障がなかった。
Q	特徴的な授業で「箏の学習」があるようだが内容は。
A	元PTA役員で地域協力者がおり、もう20年以上も続いている。クラブ活動もあり、音楽会等で発表も行っている。
Q	学区域外から通学する児童の経路の安全確認はどうしているか。
A	教員が自宅及び通学経路を確認し、危険がないことを確認している。今まで大きな事故はない。
Q	ホームページの更新について決まりはあるか。
A	各学年で年15回更新するよう方針を決めている。今年度はまだクリアしていない。
Q	ICT [※] を活用した英語学習についてタブレットをどのように使っているか。
A	英語というより他の科目で活用している。プレゼンをデジタルで行うなどしている。
Q	災害時、学区域外からの児童への対応は。
A	学校で確実に安全を確保することが大切だと考えている。
Q	教育活動アシスタントとは。
A	本校では、教育実習をした大学生が教育アシスタントとして教員の補助をしている。午前中に活動してもらっている。

※ [information and communication technology] 情報通信技術。情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語。

監査対象校(園)	上野中学校
監査実施日	令和6年1月17日(水) 14時45分
主な質疑応答 (Q:監査委員 A:校(園)長)	
Q	外部指導員と部活動指導員の違いは。
A	外部指導員は外部の技術指導をしてくれる様々な指導員。部活指導員は都の制度で会計年度任用職員として任命されている。生徒の引率や審判もできる。予算の関係で1校1名までとなっており、剣道部に部活動指導員がいる。
Q	魅力ある教育活動の推進は、校長先生が交代しても新しいことを始めるのは難しいと思うが、どのようにやったのか。
A	今求められるもの、不足していたもの、今までやっていたとしてもそれが有効かどうかを洗いだし、できることを提案している。芸大卒の声楽科の方が来てくれるようになり、極めて高いレベルの音楽祭ができるようになった。イングリッシュサマーイベントは、都の施設に行く予算を使って校内で実施した方が良いのではないかと発想だった。
Q	窓が多いが、寒さや熱さはどうか。
A	強化ガラスのためボールが当たっても割れない。窓が多いため明るいですが、時間によってまぶしすぎるとカーテンを閉めている。大規模改修前は防球ネットがついていて、緑のカーテンもできるが、教室が暗くなっていた。今は廊下まで明るいので、生徒・保護者には好評である。
Q	中学生になると部活動などで忙しく本を読まない生徒が多いが、何か工夫をしているか。
A	新しい本を含めて図書館にも置くとともに、各クラスに学級文庫を作って本を置いておき、期間を決めて他のクラスに回し、様々な本が常に手に取れるようにしている。今年度は朝学習で読書をしており、心を落ち着けて本を読む習慣をつけることが重要だと思っている。
Q	立志式とは何か。
A	台東区の特徴であるころごし教育の一環として、平成26年度以降区内の全中学校で行っている。2年生の時に今までの自分を振り返り、将来を見据えてどんな人間になりたいのか、どんな仕事に就きたいのかを作文にして発表をする。クラスで発表し、代表生徒が立志式において壇上で発表する。
Q	生徒から先生の授業についてアンケートを取っているのか。
A	毎学期実施している。それを基に次の学期の改善策を全教員が作り、全保護者・生徒に公表している。

監査対象校(園)	金曾木小学校
監査実施日	令和6年1月22日(月) 13時30分
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 校(園)長)	
Q	新型コロナウイルス感染症の感染症法上5類移行の後、遊びはどうしているか。
A	校庭が狭いので使用する学年等の割り振りをしている。校長室も開放しているので、遊んでいる児童もいる。
Q	指導力のある教員とは。
A	求められる4つの力(学習指導力、成果指導力、学校運営力、外部折衝力)について判断している。PTAなどの行事に参加することも大切である。さらに、指導力を高めるようOJT※にも力を入れている。
Q	いじめを未然に防ぐ工夫はあるか。
A	道徳の授業を大切にし、挨拶や温かい言葉、あきらめない心、言葉遣いを重要視している。ハートボックスを設置し、子供たちに悩みなどを書いて入れてもらっており、効果が出ている。
Q	教育支援館からの支援(教材・人材)についてはどうか。
A	個別の科目よりも、特別支援を要する児童への支援が多い状況である。
Q	食育の予算執行の内容について教えてほしい。
A	栄養士を通して、食育を学ぶ教材のために使う目的が主となっている。
Q	人権教育についての指導方法はどのようにしているか。
A	子供達に自分と相手の違いを認識させることや温かい言葉が大切である。児童には今日一日で言われてよかったことを共有させている。
Q	タブレットの使い方について注意していることは。
A	トラブルはないが、タブレットを使用するルールを教員に徹底した上で、児童に指導している。
Q	図書の利用についてどう考えるか。
A	語彙力がつき、心が育つと思う。以前は充実していなかったなので、力を入れているが、アンケートをとってもなかなか本を読んでいる児童の数値が上がらない。学年ごとに冊数などの目標を決めることは簡単だが、そんな単純なことで良いかどうか難しいところである。

※ [on-the-job training] オン・ザ・ジョブ・トレーニング。職場の実務を通じて行う研修。

監査対象校(園)	柏葉中学校
監査実施日	令和6年1月22日(月) 14時45分
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 校(園)長)	
Q	地域社会に貢献する学校とは、具体的にどのような貢献をしているのか。
A	生徒会の交通安全活動、地域のお祭りのボランティア活動、青少年の下町っ子祭りでのブース作り、大江戸清掃隊で清掃活動などに取り組んでいる。
Q	難聴通級指導学級は、他の中学校にはないのか。
A	中学校の難聴通級指導学級は都内に5校で、台東区内以外に足立区、荒川区等からも来ている。本校の生徒は2名在籍しており、他校からは8名通級している。
Q	部活動地域移行については如何か。
A	今は過渡期の状況だが、今までの部活動文化を欧米の様なクラブ文化にするためには、課題が山積している。
Q	下谷青年学級はどのようなものか。
A	旧竜泉中と旧下谷中が統合した時に、特別支援学級を卒業した子供のフォローアップとして、同窓会のようなものを作ったことが続いている。勉強というよりは、交流やいろいろなことを行っている。外部の講師を呼んでお金の使い方、SNSの使い方、物作り、バスハイク等の行事も行っている。
Q	校訓で「堅忍不拔」とあるが、何か理由があるのか。
A	校訓はその時代に合わせて変えて良いものだと思う。今の時代にそのまま当てはめると少し違うので、解釈は変えていかなければいけない。ある程度、辛いことに負けず、我慢して取り組むということは必要なことだと思っている。
Q	人権尊重教育推進校に手を上げられている理由は何か。
A	歴史的・地域的なものが一つ大きい。日常の生活の中で人の命と、自分の命と同じ位に尊重することや、力が結集すると良いものができるというようなことに繋がると思っている。
Q	柏葉アカデミーは具体的にどういった活動なのか。
A	柏葉アカデミーは、放課後の英語・数学・国語の補習教室となっており、学力向上推進ティーチャーが本校の教員と協力して、質問教室のような形で行っている。基礎的な学力を身に付け、主体的に勉強をし、質問ができる生徒を育てることが目的になっている。

監査対象校(園)	上野小学校・清島幼稚園
監査実施日	令和6年1月29日(月)13時30分
主な質疑応答 (Q:監査委員 A:校(園)長)	
上野小学校	
Q	外部講師について教えてほしい。
A	プロの方で、芸能人も呼んだことがある。その道を極めた人の話は、教員が言うことより効果がある。
Q	セーフティ教室とは。
A	もともと不審者対策で、現在はネット関係の出前講座をしてもらっている。
Q	I C Tを授業にどう活用しているか。
A	例えば、子供達に質問する際、端末を用いれば一人一人考えざるを得なくなり、状況把握もできるなど、時間内で効果的に授業できる。
Q	S D G sの授業はどうやっているか。
A	5年生から学んでいる。身の周りに課題があったら、何か動くことを教えている。
Q	学びを自らデザインするとは。
A	例えば「宿題」ではなく「家庭学習」と名付けて、自らが何をすべきか考えて行動するよう教えている。
Q	タブレットの使い方について、気をつけていることは。
A	セキュリティを万全にしても必ず抜け道がある。モラルを教えることが大切だと考えている。
清島幼稚園	
Q	園児数が減っている理由をどう分析するか。
A	昔と比べて幼稚園などの就学前施設に求めるニーズが変わってきたと感じている。
Q	選択制弁当給食の割合はどれくらいか。
A	80%くらいである。
Q	人権尊重の精神はどう実践しているか。
A	まず教員が持つことが大切である。子供は自分を主張するものだが、教員が幼児一人一人の思いを大切にしていき、成長に応じて、実際の生活場面を通して相手の思いに目が向けられるように指導している。

監査対象校(園)	根岸小学校・根岸幼稚園
監査実施日	令和6年1月29日(月)14時45分
主な質疑応答 (Q:監査委員 A:校(園)長)	
根岸小学校	
Q	ノーチャイム制の効果はどうか。
A	制動が効くこと。時間に限らず、何かをやる範囲を決めたり、立ち止まれる子どもが多い。
Q	5、6年生に対しての救命救急講習を行っているということだが。
A	教員に対しての講習は必ずどの学校でも行うが、児童に対しては珍しいと思う。10年位前から行っている。
Q	メタ認知能力の育成とは。
A	現状を認識して課題を作る、そのために自己を見つめるということ。道徳教育そのものが自己を見つめることが大きな狙いである。
Q	魅力ある教育活動はどういったことに取り組んでいるか。
A	本校ではマナー教室を取り入れ、5、6年生対象で国際社会に必要なマナー、ホスピタリティを育むことが重要であると考えている。
Q	教科担任制について、デメリットはないのか。
A	小学校は担任制が基本、個別指導が必要なケースに担任としての時間が必要になる。教科担任制だと時間がとりにくいということがあげられる。
Q	蔵書数が標準より多いようだが、子供の読書についての考えは。
A	子どもたちは読書が大変好きであり、一人1台タブレットはあるが、本を読んだり図鑑で調べたりといったことが重要であると考えている。
根岸幼稚園	
Q	園児数が増えたが、何か工夫していることは。
A	仕事をしている保護者の方は幼稚園教育を受けさせたくても時間的に無理であった。預かり保育を始めたことで園児数の増加につながった。
Q	園児が多ければいいと言うことでもないが、少ないことに対する考えは。
A	現状を受入れ、いかに幼児教育の質を高めていくか、多くても少なくてもやり方を工夫していくことが必要だと考えている。
Q	魅力ある教育活動の推進で俳句があるが、園児が俳句を作れるものなのか。
A	親子で行っている。親子の関わりの中で、親が子どもの言葉や子どもの姿を俳句にしている。

監査対象校(園)	石浜橋場こども園
監査実施日	令和6年1月30日(火) 13時50分
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 校(園)長)	
Q	幼保連携について教えてほしい。
A	幼稚園と違うところは1・2歳児がおり、幼稚園の時間以外もあずかっているところである。保育園の中に幼稚園があるイメージで、教育の時間と保育の時間を分けている。
Q	3～5歳児の保護者の意見は。
A	幼稚園のニーズだけの人もある。「預かり保育」があり、用があればその日だけ子供を預けることもできる。
Q	他の区の状況は。
A	幼稚園型、あるいは保育園型が多い。また、東京都の認定を取らず、区独自でこども園を設置しているところもある。いろいろな形態がある状況である。
Q	幼稚園の時間に保育士はどうしているのか。
A	担任が幼稚園教諭と保育士の2名体制で一緒に行っている。
Q	事務作業をやる時間はあるか。
A	シフト制で事務の時間を確保している。会議や休暇もあるので、お互いにカバーしている。
Q	石浜図書館との連携は行っているか。
A	午後に子供達を連れて行ったり、「おはなし会」に参加することもある。また、避難訓練は合同で行っている。
Q	区内の他のこども園との交流はあるか。
A	研究会を開催しており、情報交換をしたり、課題などを共有している。
Q	幼保連携型として、学習面で違う点は何か。
A	幼稚園機能があるのは、学校教育の取り組みをしているということである。
Q	アスリートのとの交流について教えてほしい。
A	パラ・アスリートの方やサッカー選手に来てもらうなど、子供があこがれをもって運動遊びに取り組めるような活動を行っている。

監査対象校(園)	大正小学校・大正幼稚園
監査実施日	令和6年1月30日(火) 15時00分
主な質疑応答 (Q: 監査委員 A: 校(園)長)	
大正小学校	
Q	学力についての最新のトレンドは、個々の児童の学力の伸びで判断するよう に変わってきているが、その辺についてどう考えているか。
A	学力テストは6年生と複数学年で一部の教科だけのテストのため、学力がつか めない。来年度から2年生から6年生まで国語と算数のテストを実施。そ の結果を基に授業改善していくことに取り組み、学力の推移を経年変化で見 るようにする。
Q	スリム化させて授業に注力するには、どれぐらいのスパンで考えているの か。
A	すぐできることはやり、3年位である程度形をつけたいと考えている。教員 にもそれぞれの分掌で本当に必要なのか全部見直しをさせている。
Q	算数教育に力を入れているが、どれくらいから差がつくのか。
A	3年生ぐらいから徐々に差が出てくる。明確に差が出るのは4年生である。 学習内容が非常に多く、新しいことも入ってくるので、そこまでが積み重 なっていないと、どんどん差が開いて算数嫌いが増える。
大正幼稚園	
Q	和太鼓ワークショップは近所に和太鼓を指導する先生がいるのか。
A	園長が太鼓を習っていて、その先生に来てもらっている。
Q	公立幼稚園の役割はどのようなことか。
A	1人1人をその子らしく育てること。公立幼稚園は自分で考えて取り組む遊 びの時間を大事にしている。1人1人が持っている課題を把握し、その課題 に対して何を育てなければいけないのかを常に見て、自由に遊んでいる中 でもその子に合わせた丁寧な声掛けをしていくのが公立幼稚園の良さである。
Q	小学校と幼稚園でどのような連携をしているのか。
A	遊びの連携をしていて、4歳児と4年生、5歳児と5年生の交流をしている。 これが1年生と6年生となった時に兄弟学級としてそのまま繋がる。3年間 の長い繋がりがある中で安心感を持って学校に行ける。1年生との交流も行 い、授業に参加させてもらって小学校に安心して行けるようにしている。

監査対象校(園)	台東育英小学校・育英幼稚園
監査実施日	令和6年2月21日(水)15時00分
主な質疑応答 (Q:監査委員 A:校(園)長)	
台東育英小学校	
Q	コロナ禍の際に学校運営で何か工夫をしたことは何か。
A	学校行事への工夫を行った。例えば、展覧会をインターネット上からバーチャル画像のように見られるようにし、好評であった。
Q	外国人児童へのサポートはどういうことをしているか。
A	日数が決まっているが日本語講師をつけて日本語を教えている。但し、算数などの学力は基本的に高いので、あまり苦労はない。
Q	台東区の児童は、学力は高いが体力が低いといわれるがどう考えるか。
A	工事の関係で体育を行う場所の確保が大変だった。やはり体力面は厳しいと考えている。学力は高く、保護者の意識も高い。保護者会の参加率はほぼ100%で、家庭学習もきちんと行われていると思う。
Q	校長室検定とは何か。
A	例えば2年生は九九を、5年生は都道府県を覚え、校長室で検定を行う。合格すると写真付きの合格証が授与される。
Q	今月の道徳の研究発表はどういったものだったか。
A	全国大会で、自分を見つめることがテーマ。1時間の授業を全学級公開し、地域によって変わる道徳の授業に対し、スタンダードなものを発信できた。
育英幼稚園	
Q	園の特色に「地域財産の活用」とあるが、内容を教えてほしい。
A	お祭りへの参加、スポーツプラザ、地区センターの行事、地域の人形劇ボランティア等の情報をキャッチして活用している。
Q	園児が増えている要因はどう推察するか。
A	預かり保育があること、またホームページやSNS等で毎日発信していることがきっかけだと考えている。
Q	保護者と一緒に行っていることはあるか。
A	50周年行事では、PTAの実行委員会を組織したところ、ほぼ毎月全員の出席で、園側の希望を全力でかなえてくれた。

7 まとめ

(1) 事業所

新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行し、各事業所とも事業や行事などが徐々に回復してきた。そのような中で、区民事務所等は、高齢化、後継者不足等による町会活動の課題を抱えている。保育園では待機児童が解消した一方、職員の人手が不足している状況だが、工夫して業務を行っている。

各事業所においては、多様化する区民ニーズや環境の変化に適切かつ迅速に対応し、区民福祉の更なる向上のため、事業内容の見直しや事務改善の取り組みを推進されたい。

(2) 小学校、中学校、幼稚園

各学校・園においては、教育目標と経営方針に基づき、基礎学力の定着や体力の向上、豊かな人間性の育成といったさまざまな課題に取り組み、教育内容の充実に努めており、校長・園長のリーダーシップのもと、それぞれ特色のある活動が行われていた。

また、人事管理システムの活用により、各教職員の勤務時間等の把握が可能となり、長時間労働にならないよう適切に各教員の負担を減らしている状況を確認することができた。ワーク・ライフ・バランスの実践については、教育委員会とともに更に進めていくことを願います。

今回の監査を通じ、各学校がオンライン環境を整備し、ルールやマナーに留意しながらタブレット端末を有効活用しているなど、新しい生活様式を踏まえた取組が確認できた。今後も台東区の子どもたちが、生涯にわたり学び続ける意欲とこれからの社会を生き抜く力を身につけられるような教育環境の充実に期待する。

なお、今回の監査で指摘等のあった学校・園は、監査対象以外の各学校・園や教育委員会事務局と指摘事項の情報を共有しながら、連携して事務改善を図り、事務処理と施設管理の一層の適正化に努められたい。